



## 薬事に関する法規と制度

問 1 次は、薬事法の条文の一部である。□ にあてはまる字句として、正しいものはどれか。

### 第 2 条第 1 項

この法律で「医薬品」とは、次に掲げる物をいう。

- 一 □
- 二 人又は動物の疾病の診断、治療又は予防に使用されることが目的とされている物であつて、機械器具、歯科材料、医療用品及び衛生用品（以下「機械器具等」という。）でないもの（医薬部外品を除く。）
- 三 （省略）

- 1 政令で定める物
- 2 厚生労働大臣が指定する物
- 3 日本薬局方に収められている物
- 4 医薬品の範囲に関する基準に該当する物

問 2 次は、薬事法の条文の一部である。□ にあてはまる字句として、正しいものはどれか。

### 第 2 条第 2 項

この法律で「医薬部外品」とは、次に掲げる物であつて人体に対する作用が緩和なものをいう。

- 一 次のイから八までに掲げる目的のために使用される物（・・・（省略）・・・）であつて機械器具等でないもの
  - イ 吐きけその他の不快感又は口臭若しくは体臭の防止
  - ロ □ 等の防止
  - ハ 脱毛の防止、育毛又は除毛
- 二から三 （省略）

- 1 発汗、発赤
- 2 あせも、ただれ
- 3 神経痛、筋肉痛
- 4 不眠、いらいら

問 3 次は、薬事法の条文の一部である。□ にあてはまる字句として、正しいものはどれか。

第 2 条第 3 項

この法律で「化粧品」とは、人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌<sup>ぼう</sup>を変え、又は皮膚若しくは毛髪を健やかに保つために、身体に塗擦、散布その他これらに類似する方法で使用されることが目的とされている物で、人体に対する □ をいう。  
(以下省略)

- 1 刺激性がないもの
- 2 副作用がないもの
- 3 作用が緩和なもの
- 4 効果が保証されたもの

問 4 次は、薬事法の条文の一部である。□ a □、□ b □ にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

第 2 4 条第 1 項

□ a □ 又は医薬品の □ b □ の許可を受けた者でなければ、業として、医薬品を販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で貯蔵し、若しくは陳列（配置することを含む。以下同じ。）してはならない。（以下省略）

	a	b
1	薬局開設者	製造販売業
2	薬局開設者	販売業
3	登録販売者	製造販売業
4	登録販売者	販売業

問 5 医薬品の販売業に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品の販売業の許可は、店舗販売業の許可及び卸売販売業の許可の二種類に分けられている。
- 2 店舗販売業者は、その店舗において薬剤師が従事している場合には、薬局開設許可を受けることなくその店舗に「薬局」の名称を付すことができる。
- 3 店舗販売業者は、その店舗において薬剤師が従事している場合であっても、一般用医薬品以外の医薬品を販売又は授与することはできない。
- 4 卸売販売業の許可を受けた者は、業として一般の生活者に対しても直接医薬品を販売又は授与することができる。

問 6 店舗販売業に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 店舗販売業の許可は、その許可を申請する者の住所地の都道府県知事が与える。
- 2 店舗販売業の許可を申請する者は、登録販売者でなければならない。
- 3 店舗販売業者は、その店舗に薬剤師が従事する場合、調剤を行うことができる。
- 4 薬剤師又は登録販売者でなければ、店舗管理者になることはできない。

問 7 次は、薬事法の条文の一部である。  、  にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

第 37 条第 1 項

薬局開設者又は店舗販売業者は  による販売又は授与以外の方法により、配置販売業者は  以外の方法により、それぞれ医薬品を販売し、授与し、又はその販売若しくは授与の目的で医薬品を貯蔵し、若しくは陳列してはならない。

	a	b
1	店舗	配置
2	店舗	配置又は通信販売
3	店舗又は配置	配置
4	店舗又は配置	配置又は通信販売

問 8 店舗販売業者が、登録販売者に販売させることができる医薬品の区分として、正しい組合せはどれか。

	第一類医薬品	第二类医薬品	第三類医薬品
1	可	可	不可
2	可	不可	不可
3	不可	可	可
4	不可	不可	可

問 9 配置販売業に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 配置販売業者は、区域管理者を指定したときは、保健衛生上の観点から述べられた区域管理者の意見を尊重しなければならない。
- b 配置販売業者は、薬剤師を区域管理者に指定したときは、医療用医薬品を販売又は授与することができる。
- c 配置販売業の許可は、配置しようとする区域にかかわらず、許可を受けようとする者の住所地の都道府県知事が与える。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問10 配置販売業の配置員に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 配置員は、その住所地の都道府県知事が発行する身分証明書を携帯しなければ、医薬品の配置販売に従事してはならない。
- 2 配置員は、医薬品の配置販売に従事したときは、30日以内に従事した区域の都道府県知事にその氏名を届け出なければならない。
- 3 配置員は、医薬品を開封して分割販売することができる。
- 4 配置員は、区域管理者になることはできない。

問11 次は、薬事法の条文の一部である。  、  にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

第50条

医薬品は、その直接の容器又は直接の被包に、次に掲げる事項が記載されていなければならない。ただし、厚生労働省令で別段の定めをしたときは、この限りでない。

- 一  の氏名又は名称及び住所
- 二 名称（・・・（省略）・・・）
- 三
- 四 重量、容量又は個数等の内容量
- 五から十三 （省略）

	a	b
1	製造販売業者	製造番号又は製造記号
2	製造販売業者	承認番号又は許可番号
3	販売業者	製造番号又は製造記号
4	販売業者	承認番号又は許可番号

問12 一般用医薬品のリスク区分に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 店舗販売業者は、一般用医薬品を第一類医薬品、第二類医薬品又は第三類医薬品の区分ごとに陳列しなければならない。
- b 第一類医薬品に分類された一般用医薬品であっても、その後、第二類医薬品に分類が変更されることがある。
- c 第二類医薬品に分類された一般用医薬品は、一旦分類されると、第一類医薬品に分類が変更されることはない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問13 次は、薬事法の条文の一部である。□ にあてはまる字句として、正しいものはどれか。

第66条第1項

何人も、医薬品、医薬部外品、化粧品又は医療機器の名称、製造方法、効能、効果又は性能に関して、明示的であると暗示的であるとを問わず、虚偽又は□ 記事を広告し、記述し、又は流布してはならない。

- 1 曖昧な
- 2 誇大な
- 3 断定する
- 4 強調する

問14 医薬品の広告に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 医薬品の有効性又は安全性について、使用前・使用後を示した図画・写真等を掲げ、それが確実であることを保証する広告表現であれば認められる。
- b 医師による診断・治療によらなければ一般に治癒が期待できない疾患について、自己治療が可能であるかの広告表現は認められない。
- c 「天然成分を使用しているので副作用がまったくない」といった事実と反する広告表現は認められない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正

問15 次は、薬事法の条文の一部である。  、  にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

第36条の3第1項

一般用医薬品（専ら動物のために使用されることが目的とされているものを除く。）は、次のように区分する。

- 一 （省略）
- 二 第二类医薬品 その  等により日常生活に支障を来す程度の  が生ずるおそれがある医薬品（第一類医薬品を除く。）であつて厚生労働大臣が指定するもの
- 三 （省略）

	a	b
1	副作用	薬物依存
2	副作用	健康被害
3	長期連用	薬物依存
4	長期連用	健康被害

問16 店舗販売業者に対する薬事法に基づく監督及び罰則に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 許可を受けた店舗に対して、薬事監視員による立入検査が実施されることがある。
- 2 店舗管理者が管理者として不適当であると認められたときは、その変更を命じられることがある。
- 3 薬事法の規定に違反したときは、期間を定めてその業務の全部又は一部の停止を命じられることがある。
- 4 薬事法の規定に違反しても、懲役に処せられることはない。

問17 劇薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 劇薬を貯蔵し、又は陳列する場所には、かぎを施さなければならない。
- b 劇薬は、その直接の容器又は直接の被包に、黒地に白枠、白字をもって、その品名及び「劇」の文字が記載されていなければならない。
- c 劇薬は、14歳未満の者その他安全な取扱いをすることについて不安があると認められる者には、交付してはならない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問18 次は、店舗販売業者が第二类医薬品の販売時に行う情報提供に関する表である。a、bにあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

リスク区分	購入者側から質問等がなくとも行う積極的な情報提供	購入者側から相談があった場合の応答
第二类医薬品	a	b

	a	b
1	義務	義務
2	義務	努力義務
3	努力義務	義務
4	努力義務	努力義務

問19 次は、薬事法の条文の一部である。  、  にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

第56条

次の各号のいずれかに該当する医薬品は、販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で製造し、輸入し、貯蔵し、若しくは陳列してはならない。

一から五 (省略)

六  が混入し、又は付着している医薬品

七 病原微生物その他疾病の原因となるものにより  され、又は  されているおそれがある医薬品

八 (省略)

	a	b
1	異物	汚染
2	異物	分解
3	水分	汚染
4	水分	分解

問20 食品と医薬品との違いに関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 食品とは、医薬品及び医薬部外品以外のすべての飲食物をいう。
- b 健康食品という言葉は、薬事法で定義されている。
- c 食品と明記して販売されている製品は、専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）を含む場合でも、医薬品とは判断されない。
- d 食品と明記して販売されている製品であっても、<sup>ぼう</sup>効能効果や用法用量の標榜内容によっては、医薬品と判断される。

- 1 ( a , b )      2 ( a , d )      3 ( b , c )      4 ( c , d )

## 医薬品に共通する特性と基本的な知識

問21 医薬品の本質に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 本来、医薬品は、人体にとって異物（外来物）である。
- 2 医薬品は、有益な効果のみをもたらすとは限らず、好ましくない反応を生じる場合もある。
- 3 人体に使用されない殺虫剤などの医薬品は、人の健康に影響を与えることはない。
- 4 医薬品が人体に及ぼす作用は、そのすべてが解明されているわけではない。

問22 一般用医薬品に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 一般用医薬品の製品に添付されている文書（添付文書）や製品表示には、使用者が適切に使用するために必要な情報が記載されている。
- b 一般用医薬品の販売に従事する専門家は、有効性、安全性等の新しい情報の把握に努める必要がある。
- c 一般用医薬品の販売に従事する専門家は、製造販売業者等から提供される製品回収等の情報に日頃から留意しておく必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正

問23 次は、WHO（世界保健機関）による医薬品の副作用の定義に関する記述である。

、 にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

疾病の予防、診断、治療のため、又は身体の機能を正常化するために、人に   
用いられる量で発現する医薬品の有害かつ  反応

	a	b
1	通常	意図する
2	通常	意図しない
3	過剰に	意図する
4	過剰に	意図しない

問24 医薬品によるアレルギーに関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a アレルギーの症状は、結膜炎症状と鼻炎症状に限定される。
- b アレルギーは、外用薬でも起こり得る。
- c 医薬品にアレルギーを起こしたことがない人でも、病気等に対する抵抗力が低下している場合などには、思わぬアレルギーが起こり得る。
- d アレルギーには、体質的・遺伝的な要素はない。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問25 医薬品の添加物に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 医薬品の添加物は、それ自体積極的な薬効を期待して配合されるものではない。
- b 亜硫酸ナトリウムは、アレルギーを引き起こす原因物質となり得る。
- c 黄色4号(タートラジン)は、アレルギーを引き起こす原因物質とはならない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問26 次は、一般用医薬品に関する記述である。、にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

一般用医薬品は、な疾病に伴う症状の改善等を図るためのものであり、副作用の兆候が現れたときには、基本的にすることとされており、必要に応じて医師、薬剤師などに相談がなされるべきである。

	a	b
1	重度	用量を減らして継続
2	重度	使用を中止
3	軽度	用量を減らして継続
4	軽度	使用を中止

問27 次は、医薬品と他の医薬品等との関係に関する記述である。□ にあてはまる字句として、正しいものはどれか。

複数の医薬品を併用した場合、又は特定の食品と一緒に摂取した場合に、医薬品の作用が増強したり、減弱したりすることを □ という。

- 1 依存性
- 2 相互作用
- 3 過敏反応
- 4 プラセボ効果

問28 一般用医薬品のかぜ薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a かぜ薬と解熱鎮痛薬は、成分や作用が重複することがあるため、両方を併用することにより高い効果が期待できる。
- b 緩和を図りたい症状が明確である場合には、なるべくその症状にあった成分のみが配合された医薬品が選択されることが望ましい。
- c 酒類（アルコール）をよく摂取する者では、肝臓の代謝機能が高まっていることが多く、アセトアミノフェンの十分な薬効が得られない場合がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問29 小児が医薬品を使用する場合に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 小児は、生理機能の一部が未発達であるため、医薬品の使用に際して特に配慮が必要である。
- 2 小児は、循環血液中に移行した医薬品の成分が脳に達しやすいため、中枢神経系に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。
- 3 医薬品によっては、形状等が小児向けに作られていないため、小児に対して使用しないよう注意を促している場合がある。
- 4 小児は大人と比べ身体の大きさに対して腸が短く、服用した医薬品の吸収率が低い。

問30 高齢者が医薬品を使用する場合の注意事項に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 高齢者は細かい文字が見つらく、添付文書や製品表示の記載を読み取るのが難しいことが多い。
- 2 肝臓や腎臓の機能が低下している高齢者では、医薬品の副作用を生じるリスクは低い。
- 3 高齢者は、持病（基礎疾患）を抱えていることが多く、一般用医薬品の使用によって持病の症状が悪化したり、治療の妨げとなる場合がある。
- 4 高齢者は、<sup>のど</sup>喉の筋肉が衰えて飲食物を飲み込む力が弱まっている場合があり、内服薬を使用する際に<sup>のど</sup>喉に詰ませやすい。

問31 次は、医薬品の使用上の注意等における年齢区分に関する記述である。  、  
 にあてはまる数字として、正しい組合せはどれか。

医薬品の使用上の注意等において、乳児、幼児、小児という場合には、おおよその目安として、次の年齢区分が用いられている。

乳児： 1歳未満

幼児：  歳未満

小児：  歳未満

	a	b
1	3	1 2
2	3	1 5
3	7	1 2
4	7	1 5

問32 妊婦、妊娠していると思われる女性及び授乳婦が医薬品を使用する場合の注意事項に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 妊婦が医薬品を通常の用量で使用した場合、胎盤関門によって、医薬品の成分は胎児へ移行しない。
- b ビタミンA含有製剤のように、妊娠前後の一定期間に通常の用量を超えて摂取すると、胎児に先天異常を起こす危険性が高まる医薬品がある。
- c 便秘薬のように、配合成分やその用量によっては流産や早産を誘発するおそれがある医薬品がある。
- d 授乳婦が医薬品を通常の用量で使用した場合、乳汁中に移行した医薬品が乳幼児へ悪影響を及ぼすことはない。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問33 医療機関・薬局で交付された薬剤を使用している人から、一般用医薬品との併用について相談を受けた場合、登録販売者が行う対応として、適切なものはどれか。

- 1 一般用医薬品は作用が緩和なため、治療の内容にかかわらず併用が可能であると説明する。
- 2 処方した医師や歯科医師又は調剤を行った薬剤師に相談するよう説明する。
- 3 医療機関・薬局で交付された薬剤の使用を中止するよう説明する。
- 4 相談者が自ら判断すべきものとして説明しない。

問34 「セルフメディケーション」の説明として、正しいものはどれか。

- 1 医師が患者に診療の目的等を十分に説明して、患者の同意を得て治療すること。
- 2 自らの判断で医薬品を本来の目的以外の意図で使用すること。
- 3 アレルゲンに対して徐々に体を慣らしていく治療法のこと。
- 4 自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること。

問35 医薬品の品質に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 医薬品は適切に保管がなされなければ、人体に好ましくない作用をもたらす物質を生じることがある。
- 2 医薬品に配合される添加物成分は、高温や多湿、光（紫外線）等による品質の劣化は起こさない。
- 3 「使用期限」は、未開封状態で適切に保管された場合に品質が保持される期限である。
- 4 一般用医薬品では、購入された後、すぐに使用されるとは限らないため、使用期限まで十分な余裕をもって販売等がなされることが重要である。

問36 一般用医薬品を販売する際に注意すべき事項に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 購入者に適切な情報を提供する際は、添付文書等にかかれた内容を分かりやすく説明するのがよい。
- b 購入された医薬品は使用される状況が随時変化するので、販売数量は一時期に使用する必要量とするのがよい。
- c 医薬品を一定期間使用しても症状の改善がみられない場合であっても、あきらめずに使用を続けることを勧めるのがよい。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問37 一般用医薬品の販売時の対応に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 情報提供を行う場合には、説明した内容が購入者にどう理解され行動に反映されているかなどについて、実情を把握しながら行うとよい。
- 2 すぐに医薬品を使用する状況にない場合には、実際に使用する際に、改めて添付文書等に目を通すよう促すことが重要である。
- 3 購入者側に情報提供を受けようとする意識が乏しい場合でも必要な情報提供を行えるよう、コミュニケーション技術を身につけることが望ましい。
- 4 服用する購入者本人の状態や様子全般から得られる情報は、販売時に説明する際の情報としては活用できない。

問38 サリドマイド訴訟に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a サリドマイド製剤を妊婦が使用したことにより、出生児に先天異常が発生したことに対する損害賠償訴訟である。
- b サリドマイドは、催眠鎮静成分として承認されたことがある。
- c サリドマイドによる薬害は、我が国だけで問題となった。
- d サリドマイドの光学異性体のうち、*R*体を分離して製剤化すれば、催奇形性は避けられる。

- 1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問39 クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）訴訟に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 脳外科手術等に用いられたヒト乾燥硬膜を介してCJDに罹患したことに對し、損害賠償訴訟が提起された。
- 2 CJDは、ウイルスが脳の組織に感染することによって発病する。
- 3 CJDは、死に至る疾病ではない。
- 4 CJD訴訟において、国は被告とならなかった。

問40 副作用被害や薬害に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a ヒト免疫不全ウイルス（HIV）訴訟を契機として、1979年、医薬品副作用被害救済制度が創設された。
- b 医薬品の副作用被害は、医薬品が十分注意して使用されたとしても起こりうるものである。
- c 一般用医薬品の販売等に従事する者は、薬害事件の歴史を十分に理解し、医薬品の副作用等による健康被害の拡大防止のために必要な情報提供をしなければならない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

## 人体の働きと医薬品

問41 消化器系に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 唾液腺から分泌される唾液には、デンプンをデキストリンや麦芽糖に分解するペプ  
トンが含まれる。
- b 食道の上端と下端には括約筋はない。
- c 胃の粘膜表皮を覆う細胞からの粘液分泌と胃液分泌のバランスが崩れると、胃痛等  
の症状を生じるおそれがある。
- d 胃粘液に含まれる成分は、小腸におけるビタミン B<sub>12</sub> の吸収に重要な役割を果たし  
ている。

1 ( a、 b )      2 ( a、 c )      3 ( b、 d )      4 ( c、 d )

問42 血液に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 血漿のほぼ50%は水分である。
- 2 フィブリンは、医薬品の成分等と複合体を形成して、それらが血液によって運ばれる  
ときに代謝や排泄を受けにくくする。
- 3 アルブミンは、体内に侵入した細菌やウイルス等の異物を特異的に認識する抗体とし  
ての役割を担う。
- 4 血液の粘稠性は、主として血漿の水分量や赤血球の量で決まり、血中脂質量はほと  
んど影響を与えない。

問43 次は、血液に関する記述である。□ a □、□ b □ にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

□ a □ は、ヘモグロビンを含み、これが欠乏すると貧血症状が現れる。

□ b □ は、損傷した血管からの血液の流出を抑える仕組みにおいて重要な役割を担っている。

	a	b
1	赤血球	血小板
2	赤血球	白血球
3	白血球	血小板
4	白血球	赤血球

問44 小腸及び膵臓すいに関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 小腸は、十二指腸、空腸、結腸の3部分に分かれる。
- b 炭水化物は、小腸において消化酵素の作用によって単糖類に分解され吸収される。
- c 膵臓すいは血糖値を調節するインスリン及びグルカゴンすいを血液中に分泌する。
- d 膵臓すいから分泌されるアミロプシンすい（膵液アミラーゼ）は、脂質を分解する。

- 1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問45 肝臓に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 アミノ酸が分解されて生成するアンモニアは、肝臓において尿素へと代謝される。
- 2 黄疸は、肝機能障害や胆管閉塞などにより循環血液中に中性脂肪が滞留することにより生じる。
- 3 小腸で吸収されたブドウ糖は、血液によって肝臓に運ばれコレステロールとして蓄えられる。
- 4 アルコールによる二日酔いの症状は、アルコールが肝臓で代謝されて生じた酢酸の毒性によるものである。

問46 消化器系に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 大腸は、内壁粘膜に絨毛がない管状の臓器である。
- b 大腸には、腸内細菌はほとんど存在しない。
- c 通常、糞便は上行結腸、横行結腸に滞留している。
- d 通常、糞便の成分の大半は水分で、そのほか、はがれ落ちた腸壁上皮細胞の残骸や腸内細菌の死骸等が含まれる。

- 1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問47 呼吸器系に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 鼻腔の内壁には粘液分泌腺が多く分布し、防御反応としてリゾチームを含む鼻汁を分泌する。
- b 喉頭から肺へ向かう気道が左右の肺へ分岐するまでの部分を気管という。
- c 喉頭の後壁には免疫反応を行うリンパ組織が集まっている扁桃がある。
- d 肺胞は、異物や細菌が侵入してきたときのために粘液層によって保護されている。

1 ( a、 b )      2 ( a、 c )      3 ( b、 d )      4 ( c、 d )

問48 循環器系に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 心臓が収縮したときの血圧を最小血圧という。
- 2 肺においてガス交換が行われた血液は、心臓の右側部分（右心房、右心室）に入り、そこから全身に送り出される。
- 3 リンパ液の流れは心臓の収縮による。
- 4 血漿中の過剰なコレステロールが血管の内壁に蓄積すると、血液が流れにくくなる。

問49 腎臓及び副腎皮質に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 腎臓に入る動脈は細かく枝分かれして、毛細血管が小さな球状になったボウマン嚢<sup>のう</sup>を形成する。
- b 尿素などの血液中の老廃物は、腎臓の腎小体で濾過<sup>ろ</sup>される。
- c ビタミンDは、腎臓で活性型ビタミンDに転換されて、骨の形成や維持の作用を発揮する。
- d 副腎皮質から産生・分泌されるアルドステロンは、体内にカリウムを貯留し、塩分と水分の排泄を促す作用がある。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問50 尿及び尿路に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 男性は女性に比べて尿道が短いため、細菌などが侵入したとき膀胱<sup>ぼうこう</sup>まで感染を生じやすい。
- b 健康な状態であれば膀胱<sup>ぼうこう</sup>内の尿に細菌等の微生物は存在しない。
- c 高齢者では、膀胱<sup>ぼうこう</sup>や尿道の括約筋の働きによって排尿を制御する機能が低下し、尿失禁を起こしやすくなる。
- d 女性では、加齢とともに前立腺<sup>せん</sup>が肥大し、尿道を圧迫して排尿困難等を生じることがある。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問51 次は、目の症状に関する記述である。□□□□にあてはまる字句として、正しいものはどれか。

メガネやコンタクトレンズが合っていなかったり、神経性の疲労(ストレス)、睡眠不足、栄養不良等が要因となって、慢性的な目の疲れに肩こり、頭痛等の全身症状を伴う場合を□□□□という。

- 1 眼精疲労
- 2 雪眼炎
- 3 結膜炎
- 4 ものもらい

問52 鼻や耳に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 鼻中隔の前部は、毛細血管が豊富に分布していることに加えて粘膜が薄いため、鼻出血を起こしやすい。
- 2 鼻腔の粘膜に炎症を起こして腫れた状態を鼻炎という。
- 3 中耳は、蝸牛と前庭の二つの部分からなる。
- 4 小さな子供では耳管が細く水平に近いので、鼻腔からのウイルスや細菌による中耳への感染が起こりやすい。

問53 次は、皮膚に関する記述である。□ a □、□ b □ にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

メラニン色素は、□ a □ の最下層にあるメラニン産生細胞（メラノサイト）で産生され、太陽光に含まれる □ b □ から皮膚組織を防護する役割がある。

	a	b
1	表皮	紫外線
2	表皮	赤外線
3	真皮	紫外線
4	真皮	赤外線

問54 筋肉に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 筋組織は、筋細胞（筋線維）とそれらをつなぐ結合組織からなる。
- 2 平滑筋は、随意筋である。
- 3 骨格筋は、横紋筋とも呼ばれる。
- 4 心筋の筋線維には、横縞<sup>しま</sup>模様がある。

問55 次は、効果器に及ぼす交感神経系の作用を示した表である。a、bにあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

効果器	交感神経系
目（瞳孔）	a
末梢血管	b

	a	b
1	散大	拡張
2	散大	収縮
3	収縮	拡張
4	収縮	収縮

問56 医薬品の吸収、代謝、排泄等に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 内服薬の消化管からの吸収量や吸収速度は、消化管の内容物や他の医薬品の作用により影響を受けることがある。
- b 直腸内壁の粘膜から吸収された坐剤の成分は、初めに肝臓で代謝を受けた後全身へ巡る。
- c 腎臓の機能が低下した状態にある人では、医薬品成分の循環血液中に存在する時間が正常の人よりも短く、効き目が弱くなる。
- d 循環血液中に移行した医薬品の成分は、主として肝細胞内の酵素系の働きで代謝を受ける。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問57 皮膚に現れる医薬品の副作用に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 接触皮膚炎は、原因となる医薬品が触れた部分の皮膚だけでなく、医薬品が触れた皮膚から全身へ広がる。
- 2 光線過敏症は、原因となる医薬品が触れた部分の皮膚にのみ生じ、正常な皮膚との境目がはっきりしている。
- 3 薬疹<sup>しん</sup>は、特定の医薬品で起きるものであり、その医薬品の成分によって発疹型<sup>しん</sup>は決まっている。
- 4 薬疹<sup>しん</sup>が現れた場合、重篤な症状への移行を防止するため、原因と思われる医薬品の使用を中止する。

問58 間質性肺炎に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 間質性肺炎は、気管支又は肺泡に細菌が感染して炎症を生じたものである。
- 2 医薬品の副作用で起こる間質性肺炎は、原因となる医薬品の使用後1～2時間以内に症状が現れる。
- 3 間質性肺炎の症状は、かぜ、気管支炎の症状と区別が難しいことがある。
- 4 間質性肺炎は、重篤な症状へ進行することはない。

問59 次は、胃腸に現れる医薬品の副作用に関する記述である。  、  にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

腸内容物の通過が阻害された状態を  といい、腸管自体は閉塞を起こしていなくても、医薬品の作用によって腸管運動が麻痺して腸内容物の通過が妨げられると、激しい腹痛やガス排出(おなら)の停止、嘔吐、腹部膨満感を伴う著しい  が現れる。

	a	b
1	イレウス	便秘
2	イレウス	下痢
3	アナフィラキシー	便秘
4	アナフィラキシー	下痢

問60 次は、全身に現れる医薬品の副作用に関する記述である。  にあてはまる字句として、正しいものはどれか。

高熱(38以上)を伴って、発疹・発赤、火傷様の水疱等の激しい症状が、比較的短期間に全身の皮膚、口、目の粘膜に現れる病態で、  と呼ばれる。発生頻度は、人口100万人当たり年間1~6人と報告されている。

- 1 全身性エリテマトーデス
- 2 偽アルドステロン症
- 3 アトピー性皮膚炎
- 4 スティーブンス・ジョンソン症候群(皮膚粘膜眼症候群)